

# 景観法に基づく届出添付図書

## < 行為（変更行為）届出の場合 >

### ア. 建築物、工作物の新築・増築・改築・移転の場合

図書の種類	記載内容	縮尺
付近見取図	行為地の位置及び周辺の状況を示す図面。 1.縮尺・方位 2.道路、公園等の公共施設 3.行為地の位置 4.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/2,500 以上
現況カラー写真	行為の場所及びその周辺の状況を示す現況写真。 行為の場所と行為の概ねの形状等を示すこと。 敷地が接する道路ごとに2方向以上から撮影すること。 ・景観の連続性、眺望景観等に配慮し、これらの状況がわかるアングル（道路の進行方向に向かって敷地周辺の景観が写ったもの）で撮影。 ・届出に係る建築物又は工作物（完成後）が視認される場所（道路や公園などの公共空間）から撮影。	-
配置図・土地利用計画図	届出に係る建築物又は工作物の状況、既存の建築物又は工作物の状況、外構及び周辺の状況を示す図面。 1.縮尺・方位 2.行為地の形状・高さ・寸法 3.届出に係る建築物又は工作物の配置、形状・寸法 4.行為地と同一敷地にある既存の建築物又は工作物の配置 5.隣地隣接の状況（建物の配置・構造・階層、地盤の高さ） 6.隣接する道路の位置及び幅員 7.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/100 程度
断面図	行為前後の敷地の高さ、隣地との高さ関係を示す縦横断面図。 1.縮尺 2.境界位置 3.現況地盤面（細線） 4.計画地盤面 5.法面（がけを含む）又は擁壁等構造物の位置、形状	1/100 程度
隣接する公共空間から敷地に正対する方向の着色姿図	届出に係る建築物又は工作物の状況、各部の仕上げ及び露出する建築設備の状況を示す着色図面。 1.縮尺・方位 2.開口部、建築設備、軒等の位置、形状及び寸法 3.屋根及び壁面等の仕上げ（素材及び色彩（マンセル表色系）） 4.各姿図の鉛直投影立面積の求積図及び算定式	1/50 程度
外構平面図	届出に係る建築物又は工作物の外構を示す図面。 1.縮尺・方位 2.行為地の形状・寸法 3.届出に係る建築物又は工作物の配置 4.行為地と同一敷地にある既存の建築物又は工作物の配置 5.植栽計画（位置・樹種・高さ） 6.外構施設の位置、材料及び面積 7.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/100 程度
完成予想図	届出に係る建築物又は工作物の完成予想状況を示す図面。	-

備考 行為の規模により上記の縮尺によりがたい場合は、その規模に応じて適切な縮尺の図面とする。

### イ. 建築物、工作物の外観の変更を伴う修繕・模様替・色彩の変更の場合

図書の種類	記載内容	縮尺
付近見取図	行為地の位置及び周辺の状況を示す図面。 1.縮尺・方位 2.道路、公園等の公共施設 3.目標となる地物 4.行為地の位置 5.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/2,500 以上
現況カラー写真	行為の場所及びその周辺の状況を示す現況写真。 行為の場所と行為の概ねの形状等を示すこと。 敷地が接する道路ごとに2方向以上から撮影すること。 ・景観の連続性、眺望景観等に配慮し、これらの状況がわかるアングル（道路の進行方向に向かって敷地周辺の景観が写ったもの）で撮影。 ・届出に係る建築物又は工作物（完成後）が視認される場所（道路や公園などの公共空間）から撮影。	-
配置図・土地利用計画図	届出に係る建築物又は工作物の状況、既存の建築物又は工作物の状況、外構及び周辺の状況を示す図面。 1.縮尺・方位 2.行為地の形状・高さ・寸法 3.届出に係る建築物又は工作物の配置、形状・寸法 4.行為地と同一敷地にある既存の建築物又は工作物の配置 5.隣地隣接の状況（建物の配置・構造・階層、地盤の高さ） 6.隣接する道路の位置及び幅員 7.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/100 程度
隣接する公共空間から正対する方向の着色姿図であって、変更する部分が含まれるもの	届出に係る建築物又は工作物の変更状況、各部の仕上げ及び露出する建築設備の変更状況を示す着色図面。 1.縮尺・方位 2.寸法 3.開口部、建築設備、軒等の位置、形状及び寸法 4.屋根及び壁面等の仕上げ（素材及び色彩（マンセル表色系）） 5.変更する面（立面全体）の鉛直投影立面積の求積図及び算定式 6.変更する部分の鉛直投影面積の求積図及び算定式	1/50 程度

備考 行為の規模により上記の縮尺によりがたい場合は、その規模に応じて適切な縮尺の図面とする。

ウ.開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更の場合

図書の種類	記載内容	備考
付近見取図	行為地の位置及び周辺の状況を示す図面。 1.縮尺・方位 2.道路、公園等の公共施設 3.目標となる地物 4.行為地の位置（境界） 5.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/2,500 以上
現況カラー写真	行為の場所及びその周辺の状況を示す現況写真。 行為の場所と行為の概ねの形状等を示すこと。 4 方向以上から撮影すること。 ・景観の連続性、眺望景観等に配慮し、行為の場所及び周辺の状況がわかる複数のアングルで撮影。	-
配置図・土地利用計画図	設計図又は施行方法を明らかにする図面。 1.縮尺・方位 2.行為地の位置（境界） 3.法面（がけを含む）又は擁壁等工作物の位置、延長、寸法 4.敷地の形状、現況地盤高及び計画地盤高 5.計画する公園緑地その他公共用の空地の位置、形状規模及び名称 6.縦横断線の位置 7.予定建築物の位置、用途 8.現況線（細線） 9.行為中の景観配慮に関する事項（遮へい物など） 10.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/100 程度
断面図	設計図又は施行方法を明らかにする図面。行為地の縦横断面図。 1.縮尺 2.境界位置 3.現況地盤面（細線） 4.計画地盤面 5.法面（がけを含む）又は擁壁等構造物の位置、形状	1/100 程度
植栽計画図	行為地における植栽を明らかにする図面。 1.縮尺・方位 2.行為地の位置（境界） 3.現況における樹木又は樹木の集団の状況（細線） 4.保存する現況樹木、移植する現況樹木 5.植栽計画（位置・樹種・高さ） 6.現況カラー写真の撮影位置・方向	1/100 程度

備考 行為の規模により上記の縮尺によりがたい場合は、その規模に応じて適切な縮尺の図面とする。

< 行為完了届の場合 >

届出行為	添付図書
ア. 建築物、工作物の新築・増築・改築・移転の場合	届出の際に添付した現況カラー写真と概ね同一範囲を示す行為完了後の写真 届出の際に添付した立面図に係る行為完了後の写真
イ. 建築物、工作物の外観の変更を伴う修繕・模様替・色彩の変更の場合	届出の際に添付した現況カラー写真と概ね同一範囲を示す行為完了後の写真 届出の際に添付した立面図に係る行為完了後の写真
ウ. 開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更の場合	届出の際に添付した現況カラー写真と概ね同一範囲を示す行為完了後の写真